

平成25年度「愛媛県景観形成アドバイザー制度」活用状況(その1)

申請者：松山市

開催日時：平成25年10月17日【木】 14:30～16:30

開催場所：松山市北条辻 鹿島(渡船乗場周辺のその他)

議 事：鹿島(渡船乗場周辺のその他)に関する景観助言

開催状況：北条地区まちづくり協議会が、鹿島にゆかりのある渥美清氏の句碑の設置を予定しているが、設置予定場所の渡船乗場周辺は景観上雑駁(ざっぱく)であることから、景観形成アドバイザー(郡司島宏美氏)と現地踏査を行い景観形成の方向性を検討する。



所見：
・鹿島の景観資源は豊かな自然資源にあるが、その資源を活かすことができない状況にある。

・景観整備の方針としては自然と調和し、鹿島を訪れて利用する人たちが心地よくいられることを目的とした景観整備を行う必要がある。

具体的な整備方針概要

・エントランス部は多くのものが無計画に設置されているため、必要な施設を整理し、自然の風景を邪魔しない配置とデザインを施す必要がある。

・キャンプ場や海水浴場のエリアには壊れた看板等があり、除去する必要がある。

・神社エリアは伝統行事に沿った景観デザインとすべき。

・鹿園は現在の位置のまま運営するのであれば、鹿を見せる工夫が必要。保護することが目的なら別の場所に移設すべき。

・山頂の展望台から北条地区を見渡す眺望景観も重要な景観資源であり、保全する必要有。

本アドバイスを基に句碑の設置を行うとともに、市関係課と協議の上できるところから景観に配慮した整備を行うものとする予定。

平成25年度「愛媛県景観形成アドバイザー制度」活用状況(その2)

申請者：松山市

開催日時：平成25年11月4日【祝・月】 9:00～13:00

開催場所：三津浜南地区

議 事：三津浜地区まちづくり協議会との共催による景観まちあるき

開催状況：三津浜地区は古くからの港町としての街並みが残される一方で、無秩序に掲出される屋外広告物をはじめとした景観を阻害する要因があるため、三津浜地区まちづくり協議会主催の安全安心のまちあるきに、景観からの視点を加え「景観と安全なまちづくり」と題して、景観の見識を豊富に有するアドバイザー（郡司島宏美氏）による解説を行うとともに、意見交換会を行った。



所見： まちあるきの際に出された主な意見として、

- ・大可賀公園は近隣公園であるにも関わらず、地域外の人の利用が多く、駐車場の設置が必要。
- ・海岸通りの国土交通省事務所側の歩道が、急激に狭くなり見通しも悪い。
- ・市道大可賀道後松山港線（通称：サンセット通り）は見通しが良く、夕日などが美しい。一方で、パーティフジ前の陸橋を使用せず、道路を横断する人が後を絶たないので事故が心配、等

なお、当日講師から、景観からみた道路の役割の解説やまちあるきの際にチェックすべきことへの説明があり、さらに行政への要望の為に必要な調査を地元ですること、景観まちづくりは安全なまちづくりと地元らしさを意識した住みやすいまちづくりを可能にするとの解説を実施した。今回の事業により、地域住民にとって、景観まちづくりへの意識啓発が出来たものと評価できる。